



## 園長コーナー

暑い！と感じていた夏も8月の後半から急ぎ足で「秋」に変わっていきました。今年も豊作でした。マスカット・季節外れのスイカ・トマト・ゴーヤ・お米が育っています。6月に保育園連盟の全国大会に鳥取に出かけた際においしいスイカを頂き、子ども達にと送りました。そのスイカが園庭の畑でどんどん伸びて所狭しと、つるを伸ばし可愛いスイカが次々にできています。



ひかり組の収穫したトマトも食べた後、再度種から植えた苗もどんどん育っています。今年「土」のテーマから、「栽培」・「命」に広がり、自然の営みをたくさん体験してくれています。かえで保育園では、毎日の生活の中で、自ら発見したり、さわったりする体験をすることで自分で考えたり、思ったことを表現したりすることができるよう環境を考えていますが、最近、だいちは、何か新しいことをする際に必ず、話し合う習慣がつかしました。昨年までのだいちはにはなかった様子ですが、「命の大切さ」を意識しながら生活しています。虫を飼育する・採取した草や昆虫をどうしていくか・甲山に行きたいとなると、さっと集まりみんなが意見を言い合っています。また、命が終わることの怖さや悲しさから、少し消極的な遊びになってしまったこともありましたが、担任のアドバイスでその気持ちも前向きに変わっていき「育てる」ことを意識するようになってきました。先日、育てていたカブトムシが死んでしまい、どうしても卵を育てたいという意見から、相談がありました。「もう一度卵を産んでほしいからメスとオスを飼いたい」との事。シーズンが終わりそうで焦りましたが、何とか購入でき、今大切に『命』を育てています。子どもは、どんな場面でも必ず「こうしたい・こうやってみたい」と考えがあると思います。だいちさんの話を聞きながら過ごしているひかりさんも話し合ったり、人の意見を聞く習慣ができつつあります。

保育者は軌道修正する役割だけで様々な展開は子どもたちが進めていっている今日この頃です。

幼児クラス子どもたちには、自分で決めたことは、嫌なことがあったり、困っても大人が口出しせず、できるだけ自分で考え、解決していくように関わっています。これから、様々なことに挑戦し、成功したり、うまく進められず困った時が出てくるでしょう。そんなとき自分で解決していく力を蓄え、自律（自分をコントロールする）力をつけていってほしいと願っています。

「保育園生活」はまさに生きていく上で必要なことを遊びの中や生活の中で習得できる「素晴らしい教育の場」だと思っています。

～おはしコンテストのエピソード～

おはしコンテストでは、まず、「参加したいと思った人はエントリーシートに書いて持って来てください。」とお知らせしました。自信满满で来る子、友達に誘われてくる子、自ら「もうちょっとしてからにする」と消極的な子。様々でした。おはしを丁寧に持つことを意識することで姿勢、食べ物を粗末にしない、味わうことができきます。コンテストの目的は結果ではなく、正しい食事の仕方が継続していく事を大切にしたいと思っています。次回は11月に行う予定です。

魚の食べ方やお茶碗の持ち方も伝えていきたいと計画しています。

10月の運動発表会も様々な成長が見て頂けるのではないかと、計画の段階からワクワクしています。お楽しみに！

## にこにこメッセージ♪

今夏は何年かぶりに高校野球のテレビ中継に夢中になりました。どの試合を見ていても、球児だけでなく、応援する人々にも同じ思いに向かって力を降り注ぐ姿には何度も胸が熱くなりました。

かえて保育園では夕方の園庭あそびの時間、だいちぐみを中心に野球の試合が繰り広げられています。園長先生と数人のこどもたちから野球が始まり、今ではこどもたちだけでも野球の試合が行えるほどになっています。興味を持つとこどもたちの飲み込みは早く、驚くことばかりです。なかなかのピッチャーにキャッチャー、打者も増えつつあります。

必ず、野球をする時には、高校野球のプラスバンドのCDのBGMまで必須アイテムとなり、最近では、キャッチャーミットを画用紙でお母さんと一緒に手作りしてきたこどももいます。キャップもないということから、園で保育士と作り、それらの道具をうまく使い、すっかりかえて野球部が出来上がっています。

高校野球にも負けない、暑い夏から繰り広がった、保育園球児の野球をこれからも応援しつつ、このようなこどもたちの体験が様々なことへの興味・関心とつながり、新たな力が芽生える時が見えたように思えました。

主任保育士 藤森 寿美

### つぼみぐみのおしらせ・おねがい

- ・9月に入るとお散歩を再開します。外遊び用の靴の確認をお願いします。

### 幼児からのおしらせ・おねがい

- ・赤白帽子のゴムが伸びている人は新しいものにかえてください。ご協力をお願いします。

## せんせいからのおはなしコーナー

先日のお休みに、両親の故郷である長崎に帰省させていただきました。

両親が暮らしていたところは、あたり一面が山に囲まれた“THE 田舎！”。

私も震災の時に、祖母宅で半年ほど暮らしていました。都会暮らしの私たちには想像もつかなかった、山を一つ越えなければ学校にたどり着けないような所で、少しでも帰りが遅くなるとあたり一面真っ暗の中、街灯のない田んぼ道を弟と手をギュッとつなぎ、恐る恐る小走りで帰った記憶があります。

当時から、ほぼ毎年のように帰省していますが「ここだけ時間が止まっているんじゃないか・・・」と思うほど当時と風景は変わっていません。そんな風景を皆さんに少しご紹介させていただきます。



\*①おばあちゃん家の庭先から\*



\*②通称：洗面器やま\*



\*③これ全部お米です\*

①祖母宅の庭先から撮った風景②山の形が洗面器をひっくり返したように見えることから通称“洗面器やま”といわれています③小学校から祖母宅までは延々この風景です。

当時は嫌だった田舎暮らしと祖母宅からの風景だったはずなのに、なぜか毎年のように写真に収め、この写真を見ると不思議と落ち着きます。そして、いつまでも変わらないでほしい景色でもあります。

みなさんの故郷にはどんな景色がありますか？

原 夕貴

ねらい：お友達の真似をして遊んだり、興味をもって楽しく関わる。

うた：「どんぐりころころ」 わらべうた「チョチチョチアワワ」

お盆休みもあり、少人数で遊ぶことが多かったのですが、プールあそびはじょうろやカップを使い、すくったりひっくりかえして流れる水を見たりと子どもの発達に合わせて保育者が関わり遊べるようにしています。お部屋でも、乳児用の筆を使ってお絵描きをしたりと保育園ならではの遊びに取り組んでいます。

### 新聞びりびり



新聞紙を初めて見た子も多かったのではないのでしょうか。

「これはなんだ？」と言った様子でじっと保育者がびりびりとちぎる様子をうかがいながら見ていたみんなでしたが、両手を精一杯広げてちぎったり、自分たちでちぎった新聞紙がひらひら舞うのを見て目を輝かせています。最初は自分の力だけではちぎれなかった子が慣れてくるうちに破った新聞紙の間から「ばあ」と顔を出してにこにこ笑顔を見せてくれました。そんな子どもの様子につられて私たちも笑顔になりました。

ひらひら舞う新聞紙が落ちるにつれて向かいにお友達が見えると笑いあう姿が見られ、一緒に楽しい空間を感じていました。お家でも一緒にびりびりしてみてください。

### “どうぞ”



めばえぐみでは最近使っている物をお友達に「どうぞ」と手を伸ばし渡してあげる姿が見られます。「どうぞ」をしてもらった子も気づくとそれを受け取っています。同じ物が欲しくなったり、楽しそうに遊ぶお友達を見て近くにいき同じおもちゃを持って遊ぼうとしたりとお友達に興味津々でお友達大好きです。この写真は新聞紙で作ったボールをお友達からもらいじっと見つめている所です。この後「他のお友達にも見せてあげたら？」と言うと他の子に渡して

あげていました。このようによく円になりぽとん落としなど同じおもちゃで顔を見合わせて遊ぶ姿が見られます。

0歳児の集団生活は子ども同士が楽しく仲良く、お互いに興味を持って関わる中で人との関わりを楽しいと思うようになっていたり、友達がいることを嬉しいと感じられるようになっていきます。一緒に楽しく関わり、集団の中で遊ぶことが好きになって欲しいと思います。めばえの子どもたちにとって一つひとつの遊びが初めての経験であり、感じ方は子ども一人ひとり違いますので、感じた事、表現したい事は大事に受け止めていきます。そして一緒に遊ぶ中で同じ気持ちを感じられるように子どもの気持ちに寄り添っていきたいと思っています。



ねらい：からだを動かすあそびを楽しもう。

うた：「もりのくまさん」 わらべうた「アジアシアヒル」

今月は夏期休暇や伝染性の病気もあり、みんながそろう日は少なかったですが、先月に引き続きプールあそびをたくさんして過ごしました。はじめはジョウロでそうっと体にかけてあったのに、次第に水かけ合戦が始まることもありました。どの子も水に触れることを思い切り楽しめていました。9月は園庭に出て、泥あそびをたくさんしていきたいと思います。

### “ゆびえのぐ”

いつも絵を描くときはクレヨンやマジックが多かったふたば組の子どもたち。8月は「絵の具」に挑戦しました。はじめは「なんだろう？」と眺めている子が多かったのですが、一人が「やってみよう！」と絵の具に手をのばすと…それを見ていた周りの子どもたちも模造紙に手をのばし、最後には体や顔じゅうに絵の具がつくほど夢中で楽しんでいました。「なんだか不思議な感じ!」「おもしろい!」そうした思いが伝わってくる瞬間でした。一人ひとり「赤」「黄」「青」の中から好きな色を選んでゆびえのぐを行ったのですが、最後には一人ひとりの選んだ色が混ざり合い、別の色が生まれ、色遊びを存分に楽しめました。



### “お集まり”

雨の日やお外に出られないときにしているお集まり。まずは名前を呼んで子どもたちの表情や体調を見ます。最近は名前を呼ばれると、元気よく「はい!」と返事を返してくれる子が増えました。そのときの表情が何ともいえないほど嬉しそうで、その表情を見ると、今日も元気で来てくれてよかったと感じる瞬間です。友だちのことも意識できるようになってきました。



お盆があげた頃からふたば組で「じゅんばんこ」という言葉がよく聞こえるようになりました。少し前までは自分の遊びたいという思いが強く、思いがぶつかり合う事もありました。しかし最近では「まだまだ遊びたいけどお友だちが待っているから…」と、友だちを思って自分が終わると「はいどうぞ」と交代してあげる姿が見られるようになりました。クラスのお友だちを意識し、子どもたち自身でやり取りしている姿は私たちにとっても嬉しい成長の一つです。これからもこのような微笑ましい様子を見守っていききたいと思います。

猪塚 明友美・西口 智子・谷角 早紀

## ～つぼみぐみ～

ねらい：友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。

うた：「とんぼのめがね」 わらべうた：「どのこがよいこ」

8月は、7月に引き続きプール遊びを中心に楽しみました。初めの頃は大きなプールに戸惑っていた子もいましたが、今では「カエルさんだよー！」「お父さんワニだぞ〜。」などと楽しそうに遊ぶ姿が見られます。自分の好きな動物になりきりながら、お友達の様子を見ながら、プールに入ることが楽しいようです。8月でプールは終わってしまいますが、普段のままごとや外遊びの中でも友達と関わることが楽しいと感じられるように、一緒に楽しむ時間を多く持っていきたいと思います。

### “野菜への興味”



4月から食べ物への興味を持ってもらえるように、様々な取り組みをしてきました。レタスを一枚一枚ちぎったり、キュウリを育ててみたり、他のクラスが育てている野菜の様子を観察してみたり…。以前に比べると、子ども達と話す中で少しずつ変化が出てきたように感じます。

昼ごはんを食べているときに、「これは何？」と野菜を指差し、質問する子どもに対し、「これはキャベツだよ。」と答え、「キャベツか〜！誰が作ったの？誰がとって来てくれたの？」と質問攻めでした。今までにはなかった会話に嬉しく思いましたし、誰かが作ってくれているということをちゃんと分かってくれているのだなと感心しました。

### “枝豆の収穫”



8月にキュウリと並行して育てていた枝豆を収穫しました。キュウリの収穫では、大きくなったキュウリにみんなで大喜びしたということもあり、枝豆を見て「赤ちゃんだよ。まだ採ったらダメ。」という声もありました。みんなで観察した後、いざ収穫すると「ふさふさだね。」「お豆だ！やったー！」などたくさんの感想がでました。一人ひとり持つことが出来るように一房ずつ手渡すと、みんなとても上手に房から一つひとつちぎってくれました。そして、その日のおやつ時間に枝豆ゆがいてもらい、みんなで食べました。何も声をかけなくても「おまめ」の絵本を思い出し、しっかり皮から出して食べていました。スーパーで売っている枝豆に比べると少し小さかったですが、旨味がぎゅっとつまっていて「豆の味」を楽しめました。

普段の外遊びの中でも出来る限り毎日キュウリや枝豆の観察をする様にしていました。最近ではキュウリの葉も少しずつ終わりを迎えていたため、担任のなかでは、いつプランターから取り出そうかと話し合っていたのですが「ここにもきゅうりの赤ちゃんいたよ！」と毎日のように見つけ出してきてくれるため、なかなか次の人参栽培へは進めずにいます…。しかしそれほどキュウリに興味を持ってきてくれたことに驚きましたし、野菜が苦手な子どもも今では採りたてのキュウリを何度もおかわりするほどになりました。（給食のきゅうりは本人いわく別物らしいのですが…。）初めはそれほど興味のなかった野菜も今ではみんなの興味や疑問に繋がっていく様子をそばで見感じてとてもうれしく思います。キュウリを全て収穫し終えたら次は人参栽培のスタートです。ご家庭でも子どもたちの些細な疑問や発見に耳を傾けてもらえたらと思います。

林 奈津美・足立 真裕子・星加 由美子

## ～いびきぐみ～

ねらい『のびのびと表現する』 うた『ゆうやけこやけ』

プールあそびは、ひかり、だいちさんと一緒に入る機会もあってお兄さん、お姉さんの姿を見て「いびきもできる！」とバタ足をしたり、顔を水に浸けたりと真似をしたいという気持ちで意欲的に楽しんでいました。その“挑戦心”からある日、「先生、顔つけた！」と「できた！」ので嬉しい“達成感”に変わっていました。その様子を見ていた子どもできるかな…と自ら顔を浸ける子どもでてきて、楽しい水遊びを満喫した2カ月でした。

### “はさみでちょきちょき”



絵画あそびでさみを使ってから、普段の室内あそびでも「先生はさみ貸して！」とはさみで紙を切る楽しさが分かったようです。細かく切れた紙をみて「のりでこれ貼る！」と自分で切った紙を他の紙に貼ったりのりを使う機会も増えました。普通に切っていた紙をよく見ると…偶然「あれ？船に見える！」「ライオン、山に見える」と新たな発見も！そこから「色塗ってみる」「のりでここくっつける」と子どもたちが想像しているものがどんどん形になりました。折り紙あそびも発展し、「こんなものできた！」「次はこれつくる」とはりきる姿も。子どもたちが見て感じるものをこれからも表現していきたいと思います。今は練習で白い折り紙を使っていますが、段々上手に折れるといろいろな素材を用意しようと計画しています。

### “ビー玉どこだ！？”



クーゲルバンの玩具で使うビー玉。1週間に1つずつビー玉を増やしてめざせ10個を目標にしています。ビー玉の数が増えると「あ！棚の下に入っちゃった…」と落としてしまうことも。それを聞いた周りの子が「あ！」とどこかへ走って…ほうきを持ってきて「取ってあげる」「はいどうぞ」「先生棚どかして！」とそれぞれが声をかけながらビー玉を取る姿が見られます。子ども同士がお互いを思いやり、助け合う気持ちから「ありがとう」と自然と言葉にできていました。

### “なすの収穫”



4月から育て始めたなすも大きく育ち、2回目のクッキングをしました。1回目はなすの漬物を作りました。昆布と塩を袋に入れて袋の中に入れて振って食べました。2回目の今回は焼きなすを作りました。園庭になすを見に行くと「あ！黄色くなってる！」と紫のなすが黄色に変化して枯れている事を発見。どうしようかなと考えていると…「こっちは食べれる、こっちは食べれない」と子どもたちでなすを分けていました。どうして食べることができないのか聞いて見ると「色が黄色だから、なすが固いから」となすの様子を真剣に観察しながら分けていました。子どもたちが分けたなすを切って、2人ペアになってナスを洗いました。「しっかり洗わないと」と水で洗い流してフライパンで焼いてできあがり！1口ずつ食べると「おいしい！もっと食べたいからおかわり！」「なす食べれたよ！」と満足そうでした。残ったなすをどうしようかと聞くと「他の先生とか…園長先生とか…あと…」と自分たちで育てたなすをいろんな人に食べてもらいたいとお皿を持っておすそ分け。「美味しい！ありがとうね！」の言葉に照れながらも嬉しそうな姿が見られました。

はさみ、のりを使っての製作や折り紙で自分でこんなものが作れた！の発見と自分で作れたことの達成感をよく伝えてくれます。その嬉しい気持ちを周りの友達に伝えて子ども同士で共感する姿も見られます。創造力、感じた事を言葉にすること、思ったままのびのび表現することをこれからも大切にして様子を見守りたいと思います。その中で子ども1人1人の自分らしさを見つけて行けたらと思います。



ねらい「友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ」 うた「山のワルツ」

プールあそびに毎日ウキウキしていた8月でした。はじめは、「顔はつけられないよ」とっていた子たちもお盆休みの間のお出かけや保育園でのプールを経て「泳いでみたい」という気持ちにかわってきていました。「できない」と思い込んでいる子も不意にできたことをきっかけに「できるようになったよ」と嬉しそうな笑顔で報告してくれる姿があります。いろいろなことにも積極的に挑戦しようとするひかりさん。これからどのようなことが待っているのか楽しみです。

### “もう一度育てたい”



最後に収穫したトマトをどうするか子どもたちと相談をすると「もう一回育てたい」「この種を植えてみよう」となり、3人1組でプチサイズにしか大きくならなかったトマトから種を一生懸命取り出し、小さなポットに植えました。子ども達は「大きくなりますように」とお願いをしながら植えて水をあげていました。その後お盆をはさみあまり観察ができない日々が続きました。しかし、お盆明けの月曜日子ども達から「先生すごいよ」「トマトが大きくなって」と様子を朝一でみていたようでした。



### “芽がでたよ”

しっかりとたくさん芽がでてきたので、プランターに1本1本子ども達でうつしてあげました。1本をもつ子どもたちは、とても丁寧で「折るといけない」「そっともってあげよう」と考えながらうつしていました。このまま大きくなりますように…。子どもたちがトマトにかけるプレッシャーと期待は絶大で、トマトがその期待に応えてくれますようにと担任も一緒に願うばかりです。



そして、実がなくなったトマトの枝は、枯れていき「かわいそうだね」「でも、捨てるのもかわいそう」と考えていましたが、どんどん枯れていくなら、「抜いてあげよう」と話していました。みんなで抜いて枝を小さく折ると「うわあ、中はきれいな緑色だよ」と中が少し元気なような気がしていたようです。しかし、もう一本折ってみると「あれ、さっきとちがう。枝のなかが空っぽだよ。」と不思議そうに中を覗いていました。みんなで「どうしてだろう」と考えていると「トマトに全部とられちゃったかな」「枯れたから空っぽなのかな」と図鑑を開いてみたり子どもたちで調べることが始まりました。図鑑にはのっていませんでしたが、みんなで一緒に調べることが楽しかったみたいで、それからお部屋で図鑑を見ながら「これ、なにかな」と話し合っている姿をよくみかけるようになりました。

トマトの栽培が子どもたちにとって単なる栽培物ではなく、自分たちの大切なトマトという思いに変わった事が感じられました。トマトがなくなったとき枝が枯れていくのは放っておくのかと思いましたが、その枝に「かわいそう」などの思いを抱いてくれたことが嬉しかったです。自分たちで考えて保育者と共に実践することで子どもたちの考えようとする意欲は違ってきているのかと感じました。トマトの芽は10本程でました。どうにか生長して、自分たちのトマトから出た芽が大きくなってトマトが食べられたら本当に大きな経験になるのではないかと思います。楽しみにしています。今後も生長を楽しみながらお世話をしてくれると思うのでその姿にも変化がないか気になるところです。

須藤 聖美

ねらい『一つの目標に向かって友だちと協力する』 うた『うちゅうせんにのって』

### 【保育の様子】

8月はプールあそびに併せて夏の熱さからくる疲れもあってか、気持ちよさそうにお昼寝をする子も多かったです。プール遊びでは“けのび”や“バタ足”が出来るようになったことが嬉しいようで、すすんで練習をする姿も見られました。園庭遊びでは野球が盛り上がっていて、画用紙で手作りの帽子まで作っています。保育者がいなくても自分たちでゲームを進められるようになりました。

### “かかし作り”

お米作りを始めたこともあり、部屋には『コッコさんのかかし』という絵本を置いていたのですが、「かえて保育園でもお米、育ててるね」と言う話になったのがきっかけで、だいち組のかかし作りが始まりました。

そもそもかかして何？何のためにあるの？という子も多く、お米を鳥から守ることが分かると、今度はいぶき・ひかり組に教えていました。

生き物を大切にできるようにきてきただいち組ですが、植物を大切に思う気持ちを持つことは、そう簡単ではないようです。保育者の思いとしては、じゃがいもの栽培の反省を活かして、もっと栽培への興味を持つことが出来ればという思いもあり、かかし作りを始めました。

それを知ってか知らずか、かかしを作り始めてから、「もうお米出来ちゃうよ」「茶色くなってきてた！」「僕のおばあちゃんのところはもう収穫だって」等、気付きも増えてきたように思います。



肝心のかかし作りはというと、何の情報も無い状態からのスタートです。お子さんから園での様子を聞いてもらうきっかけにもなればと思い、おうちの方に聞いてみよう！と提案してみました。「こんな材料も使えるって教えてくれたよ」「どんなのにするか考えて、紙に書いてきた」「聞いてみたけど作り方知らないって言ってたから、一緒に調べてみたよ」「今度はおばあちゃんに聞いてみる！」等々、嬉しい報告も子どもたちからありました。

教えていただいたことを基に、保育園の中から材料をかき集めてみました。子ども同士のやり取りでは、「棒がいるって言ってた」「でもそれって何の棒なの」「え…棒だよ」「どんなやつ？木の棒？」

「違う違う、普通の棒」と自分の中にあるイメージを友だちに伝えようとしていたり、それを理解しようとする姿もありました。集めた材料の中でも手触りを確かめて、雨に塗れても風が吹いても大丈夫なものを選びました。

いざ作り始めると、役割が自然と出来て、それぞれの性格が現れるのが面白いです。下ですっと棒を支えている子や、中心になって役割を振る子、任せられた場所を丁寧にやり遂げようとする子、ずっとガムテープを持って出番が来るのを待っている子等々。完成も間近です。

材料のご協力、ありがとうございました。子どもたちの力作かかしが園庭に立つのを、お楽しみに！





## 【保護者の方からのおはなしコーナー】

保育園に行き出してから、ズリバイが上手になって、そのうちハイハイも上手になりました。たくさん遊んで帰ってくるので、いつも帰り道はうとうととしています。

日々健やかに成長してほしいです。

めばえ組 あいさん

お父さん、お母さんのいろいろなお話が聞けてとても嬉しく思います

我が家の充電ごっこ。きっかけは、長女の爪噛み。お友だちに教えてもらったあそびです。ぎゅーっと抱っこして、充電中〜と抱きしめるだけ。お膝の上に座って、ママに爪切らせてよ！充電ごっこもいっぱいしよう！と遊びを続けると、言葉がけだけでは、だめだった爪噛みが止まった。次女が何かイライラしている時にも「充電切れ？」と嫌がる娘をぎゅーっと抱きしめてやる。すると、しばらくすると、子どもに変化が起こってびっくり。言葉では伝わらない事も抱きしめてやると伝わることもあるみたい！スキンシップって大切ですね。

いぶき組 えりさん

最近の息子は夕食のたびに「ママお箸はこうやってお兄さん指を…」と私にお箸の持ち方を教えてくれます。はじめは何を言っているのかと思っていたら、鞆の中からおはしコンテストの紙を大事そうに見せてくれました。園長先生と練習してもっと上手に持てるようになるねん！と言うのです。保育園ではお箸の持ち方までコンテスト形式で教えてくれていることに感謝の気持ちと、目標を持って取り組めるようになっていく我が子の成長をひしひしと感じることが出来ました。私に得意気にお箸の持ち方を指導してくれる息子も、決して正しく持てているわけではありませんが、それでも毎日夕食のたびに私のお箸の先生になっています。次は何を私に教えてくれるのかとっても楽しみです。園長先生におはしコンテストではなまるをもらえるまで頑張してほしいです。

ひかり組 ゆうこさん

卒園児を持つ母として、以下の事でとても助かっています。

- ①年間スケジュールが細かく知らされている
  - ②明日、近日の準備の掲示がある
  - ③年間を通して正月以外、休みや遅登園、早帰りがほとんどない
  - ④給食がほぼ毎日ある
  - ⑤忘れ物をしても借りることが出来る
  - ⑥子どもの成長や心配事をタイムリーに先生たちとお話できる
- 娘は小学校に行ってもかえで組の仲間と仲良くします。

つぼみ組 まさこさん

6歳の息子は、かえで保育園開園時からお世話になっています。困ったことがあると「じゃあこうすればいいんちゃう？」と自分の意見、解決策をいつも提案してくれます。きっと、保育園での生活の中で「自分で考える力」「生きていく知恵」をしっかり育て成長していることを実感しています。

先日4歳の誕生日を迎えた娘は、誕生日会の練習をするつもりで「大きくなったら何にしたいですか？」とパパに質問されると、「なわとび！」と答えました…（笑）

本番大丈夫だったのかな？

だいち組 えみかさん





- 今年も9月8日(火)～18日(金)  
(土曜・日曜・祝日は除きます)に敬老週間で  
おじいちゃん、おばあちゃんと一緒にゆったりと時  
間を過ごして頂きたいと思います。  
詳しくはおたよりを配布しますのでご覧ください。
- 9月17日はいぬづか写真室のご好意で「オリジナ  
ルノートを地域の子どもたちに配る会」で個人の写  
真入りのノートを作成するため、撮影を行います。  
詳しくはおたよりでお知らせします。

### こんなことしたよ♪

7月に続き、今月もお天気のいい日には、子どもたち  
の大好きなプール遊びを行いました。  
暑い日が多かったので、プール遊びが出来る機会も多  
く、どのクラスの子どもたちも楽しそうに遊んでいま  
した。水の苦手な子どもも少しずつ水に慣れていき、笑顔  
で足をバタバタさせる姿や、顔を水につけてみよう  
と挑戦する姿が見られました。日々一人ひとり成長が感  
じられ微笑ましく感じました。



8月25日、だいち組は松秀幼稚園へ散歩に行きました。  
松秀幼稚園の素晴らしい自然の中をワクワクドキ  
ドキしながら散策させて頂きました。ザリガニ釣りは全  
員が釣れ、マリオ太郎のお嫁さんを一匹だけ頂きました。  
また、うさぎのエサを考えて持っていき、うさぎ  
の隣にいるうすらにも触れ合うことができ、楽しい一  
日でした。



- プール遊びは終わりますが、健康調査票への記入  
を忘れずお願いします。記入漏れがあると、  
園庭遊び、園外保育ができません。必ず、検温、  
降園時間、迎えの予定者の記入をしてください。
- お天気の良い時は園外保育に出かけます。必ず運  
動靴で登園してください。
- 持ち物に名前をかいてください。

### \*お誘いとお願ひ\*

- お手伝いを募集します。  
9月12日(土)10:00～  
園庭の土山もたくさん遊べました。運動発表会の  
準備で園庭を均します。  
お手伝いして下さる方は事務所まで。
- かえでカフェ  
9月17日(木)16:00～  
夏休みしていたカフェ再オープンです。  
おいしいお茶とお菓子でお待ちしています。  
テーマはお楽しみに!
- 運動機能の調査の協力します。  
武庫川女子大学臨床教育研究所より幼児期にお  
ける運動能力の研究に協力することとなりました。  
詳しくは別紙にてお知らせいたします。



### \*今月の予定

- 3日(木) 体育あそび  
子育て支援(親子スキンシップ)
- 4日(金) 松秀幼稚園へ散歩(だいち)
- 8日(火) 音楽あそび  
敬老週間 8日～18日(土日除く)
- 9日(水) 子育て支援(ベビーマッサージ)  
絵画指導
- 10日(木) 体育あそび
- 14日(月) 月例健診・避難訓練(消防立会)
- 16日(水) 誕生会
- 17日(木) 体育あそび  
支援(読み聞かせ・健康チェック)
- 18日(金) だいち園外保育
- 24日(木) 体育あそび
- 25日(金) 絵画指導